

臨床検体使用に関するお知らせ

研究課題名：食道癌切除症例における血清p53抗体の臨床病理学的意義に関する多施設後ろ向き解析研究

【研究の背景および目的】

食道癌における腫瘍マーカーとしてはSCC抗原、CEA、p53抗体の3種類が体外診断薬として保険収載されており、実臨床ではCYFRA21-1も含めた4種類の腫瘍マーカーが汎用されています。しかし、統計学的解析が不十分であり、その臨床病理学的意義は不明確です。

特に、2007年に保険収載されたp53抗体については、測定している施設が限定的であるため、実際の利用方法についてはガイドラインレベルでの一致した見解がありません。

そこで、東邦大学医学部外科学講座一般・消化器外科学分野（東邦大学医療センター大森病院消化器センター（外科））では、1,000例以上の規模の症例数で、食道癌における腫瘍マーカーの臨床病理学的意義を検討し、将来の診療ガイドラインにおけるステートメントの参考資料とすることを目的として本研究を計画しました。

この研究で得られる成果は以下3つの医学的貢献につながります。

- ・食道癌治療における腫瘍マーカーを指標とした診療についてより客観的な意義を明らかにすることができる
- ・食道癌診療ガイドラインにおける腫瘍マーカーに関する記載をより正確にすることができる
- ・治療前の腫瘍マーカー値から治療効果や予後の予測が可能であれば診療上有用性が高い

【研究対象および方法】

本研究は、当センターで食道がん手術を受け、p53抗体検査を受けている患者さんが対象になります。

診療録（カルテ）から抽出した腫瘍マーカーと標準的な臨床病理学的因子などを解析することにより、食道癌における腫瘍マーカーの臨床病理学的意義を検討します。

この研究は、東邦大学医学部倫理委員会の承認及び、千葉県がんセンター倫理審査委員会の承認を得て実施するものです。

今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報（氏名、生年月日、ID、住所、各種治療日等）が外部に漏れることは一切ありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報や解析から得られた結果を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。

【連絡先および担当者】

千葉県がんセンター 食道胃腸外科

住所：260-8717 千葉市中央区仁戸名町666-2

研究責任者：主任医長 星野 敢

F a x：043-265-9515

E-mail：ugi.research@med.toho-u.ac.jp

(お問い合わせは、Fax、e-mail 又は郵送でお願いいたします)